

2022 年 1 月 25 日

学部学生・大学院生の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症対策本部  
統合教育機構  
保健管理センター

新型コロナウイルス感染症の世界的流行が始まって 2 年たちました。

デルタ株主体の第 5 波が昨秋に収束したのもつかの間、年明けからオミクロン株が急速に広がり、新しいフェーズに入りました。本学でも 2021 年度は、大学院生・学部学生あわせて、4 月から 9 月までに 23 名の陽性者があり、10 月以降新規陽性者はありませんでしたが、1 月 12 日から本日までに学部学生だけで、12 名の新規陽性者が出ています。他大学の状況も同様で、検査陽性がより身近な状況になってきています。

以下の点について、再度確認していただき、十分に COVID-19 感染対策に注意して修学を進めてください。

1. 感染予防策(常時マスク着用、こまめの手洗い・うがい、3 密回避)の励行をお願いします。ワクチン接種だけでは感染を完全に予防することはできず本学での陽性者の大部分はワクチン接種済の方です。これまでと同様に十分注意してください。会食の後に感染/濃厚接触となる人が多いです。同居人以外との食事を避け、会食を控えてください。
2. PCR 検査で陽性になった、症状が出た、同居のご家族が陽性になった、濃厚接触者に指定された、などの場合には、学部学生の方は所属学科の教務係に、大学院生の方は指導教員に連絡してください。
  - ・ 本学における症状・PCR 結果等の報告体制図(学生)  
(<https://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/cov/>)
3. 各教務係・指導教員/分野長から連絡を受けた保健管理センターは、皆さんに電話で連絡して状況を伺います。①発症日時、②検査日時、③受診医療機関、④ワクチン接種回数、⑤発症 2 日前までの行動状況、等の情報をお聞きすることがあるので整理しておいてくださると大変助かります。
  - ・ 出席停止の対応について  
(<https://www1.tmd.ac.jp/files/user/www1.tmd.ac.jp/Criteria%20for%20refraining%20from%20coming%20to%20the%20university.pdf>)
  - ・ 身近で確定診断者が出た場合  
(<https://www1.tmd.ac.jp/files/user/www1.tmd.ac.jp/20201026%20betten.pdf>)
4. 陽性の場合には、保健所からの療養に関する指示に従ってください。軽症の場合、発症後 10 日間の自宅療養を指示されることも多いと思います。本学では大事をとって、経過が良い場合でも 14 日間の療養のあと復帰としています。濃厚接触者の指定を受けた場合には、10 日間の観察期間が指示されます。

2020 年より皆さんの協力で本学のコロナ対策は大きなトラブルなく進んできました。新しいフェーズに入った新型コロナウイルス感染症第 3 年の本年も引き続きよくご理解ご協力をお願いします。